

私たちは文化財をおして
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



公益財団法人滋賀県文化財保護協会
は設立50周年を迎えました

季刊

みる・きく・ふれる 文化財

おうみ文化財通信

vol. 55

Information of Cultural Heritage in OHMI

2023 Spring

- 【調査速報】 弥生時代の多角形竪穴建物を発見！—大津市里西遺跡—
- 【展示案内】 滋賀県立安土城考古博物館 令和5年度春季特別展
「信長と家康—裏切る者・裏切らざる者—」
- 【お知らせ】 滋賀県立琵琶湖文化館
「文化館の大トンボ」地上に舞い降りる
- 【受講生募集】 連続講座 文化財もの知り学「日本史探求 / 近江1万年の物語」
文化財で人づくり・地域づくり
- 【お知らせ】 「しがぶん募金」のご支援・ご協力ありがとうございます



【調査速報】

弥生時代の多角形竪穴建物を発見！ —大津市里西遺跡—



里西遺跡の多角形建物(写真提供:滋賀県)

◆^{まことにし}里西遺跡は、県南部の大津市^{いなづ}稲津・里地先一帯に所在する遺跡です。遺跡が立地する場所は、遺跡の北側を流れる大戸川などの河川によって形成された^{たなかみ}田上平野にあたります。平野でも琵琶湖から流れ出す瀬田川に近い西側に位置し、水田などが広がる平野の南側には田上丘陵を望むことができます。

公益財団法人滋賀県文化財保護協会では、滋賀県大津土木事務所が実施する県道南郷桐生草津線補助道路整備工事に伴って、令和2年度から里西遺跡の発掘調査を実施して

います。これまでの調査の結果、弥生時代から室町時代にかけての集落に関する遺構を検出し、それらの遺構に伴って縄文時代から室町時代にかけてのさまざまな遺物が出土しています。

そのなかで、弥生時代の集落については、^{たてあなたもの}竪穴建物などの遺構を確認しました。今年度の調査対象地では弥生時代後期から終末頃の竪穴建物が3棟みつきり、そのなかの1棟は大型の五角形竪穴建物でした。

【詳しくは次のページ→】

●発見された大型の五角形竪穴建物

この建物は、地面を掘りくぼめた部分の平面形が五角形をした建物です。規模は 8.1m～ 8.8m程度を測り、深さは 0.1m程度が残っています。床面積はおおよそ 53 m²あり、33 畳ほどの広さがあります。土を埋め戻して平らに整地をした床面には、直径 0.2m～ 0.3mほどの柱を据え付けた穴などが見つかりました。また、直径 0.8m ほどの炉が建物の中央付近で見つかったほか、火の熱を受けて床面が赤く変色した痕跡が複数認められました。

遺物は壺・甕・高杯・手焙り形土器などの土器が出土したほか、鉄器 2 点・砥石 1 点などが出土しています。この建物の年代は、出土した土器から弥生時代終末頃（3 世紀前半）と考えられます。



多角形竪穴建物復元図

●調査のまとめ

①今回の調査によって、平野内の微高地に弥生時代の集落が営まれていたことがわかりました。現在は水田が広がる平坦な場所ですが、当時は平野のあちこちに川や湿地が点在し、その周辺の微高地上に集落が営まれるような景観だったと想像できます。

②今回見つかった五角形竪穴建物のような多角形竪穴建物は、円形や方形の平面形をした竪穴建物に比べて確認例が少ないものです。県内の多角形竪穴建物は五角形が主体で、弥生時代後期から終末頃にあたる事例が20例ほど確認されています。これらは琵琶湖の東側にあたる地域でも南部に分布しており、規模は大型のものが多くみられます。今回の発見により、田上平野に営まれた集落にも同様の竪穴建物が分布していたことがわかりました。

③この五角形竪穴建物では、火を使用した痕跡を複数確認しています。現時点ではこれらの性格を確定できていませんが、鍛冶に伴う痕跡である可能性もあります。当時の生活の様子やこの建物の役割を想定する手がかりになると思われ、今後の調査によって性格が明らかになることが期待されます。



多角形建物が発見された調査区



土坑から出土した土器



炉と周辺の出土遺物



出土した手焙り形土器の破片



側面

正面

手焙り形土器の例（草津市柳遺跡出土）
鉢の上に覆いを付けた形。用途は不明。（写真提供：滋賀県）



こちらから現地説明会資料
がご覧いただけます！

【展示案内】滋賀県立安土城考古博物館 令和5年度春季特別展

「信長と家康—裏切る者・裏切らざる者—」

織田信長は、天下統一を進める過程で、多くの家臣や戦国大名などから裏切りを受けました。弟の信勝^{のぶかつ}を擁した宿老^{しゆくろう}たちの謀反^{むほん}から始まり、妹婿となっていた浅井長政の離反、重用した松永久秀や荒木村重の裏切り、最後は明智光秀に討たれてその生涯を閉じることになります。そんな中、同盟者としてどんな局面でも味方であり続けたのが徳川家康でした。天下静謐を進め、京都や領国の安寧^{あんねい}に腐心する信長にとって、東国への防壁になった家康は、頼もしい存在だったはずですが。人々は、なぜ信長を裏切ったのでしょうか？家康との関係は、ほんとうに変わらなかったのでしょうか？ 展覧会では、「裏切り」をキーワードに信長と家康をめぐる人間模様を考えます。

【開催期間】令和5年4月29日(土)～6月4日(日)

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】月曜日(5/1(月)は開館)

【入館料】大人900(690)円、高大生640(470)円

小中学生420(310)円

県内高齢者〈65歳以上〉460円(350円)

※()は20人以上の団体料金

共催：京都新聞 特別協力：大阪城天守閣

《春季特別展記念講演会》

①5月14日(日) 13:30～15:00

「裏切られ信長—そして裏切らない家康—」

講師…金子拓氏(東京大学史料編纂所准教授)

②5月28日(日) 13:30～15:00

「松平信康・築山殿事件の真相」

講師…柴裕之氏(東洋大学非常勤講師)

会場…当館2階セミナールーム

参加費：1000円 定員：100名

※往復はがきによる事前申込制(応募者多数の場合は抽選)

①②それぞれにお申込が必要です。

(応募締切①4月21日(金)・②4月28日(金)必着)

特別展観覧料も含まれています(講演会当日のみ有効)。



まめのぶくん



博物館 HP



上：重要文化財 徳川家康禁制
(近江八幡市長命寺蔵)



姉川合戦図屏風(福井県立歴史博物館蔵)



右：重要文化財 信長記
(岡山大学附属図書館蔵)

《城郭探訪》

○5月3日(水・祝)城郭探訪① 安土城跡

要予約 定員20人

○5月7日(日) 城郭探訪② 観音寺城跡と桑實寺

要予約 定員10人

○5月21日(日)城郭探訪③ 安土城跡

要予約 定員20人

※参加費はいずれも1,500円(入館料・入山料を含む)

※①～③それぞれで往復はがきによる事前申込制(先着順)

※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。



徳川家康画像(当館蔵)

やむをえず会期を変更する場合がございます。最新情報は当館ホームページでご確認下さい。

状況によりマスク着用のご協力をお願いします。発熱・カゼの症状のある方は来館をお断りしております。

【お問合せ】滋賀県立安土城考古博物館 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678

電話 0748-46-2424 FAX 0748-46-6140 URL : <https://www.azuchi-museum.or.jp/>

【お知らせ】滋賀県立琵琶湖文化館

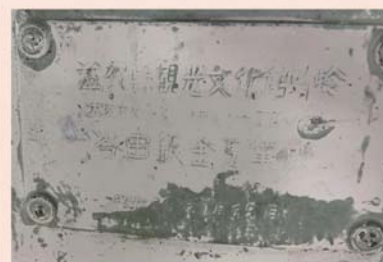
「文化館の大トンボ」地上に舞い降りる



深夜の取り外し作業



地上に舞い降りた大トンボ!



トンボの背中で見つかった銘板

琵琶湖畔に建つ琵琶湖文化館のシンボルであった大トンボのモニュメントが、令和5年1月26日深夜に、屋根から取り外されました。約60年振りに地上に舞い降りた大トンボをよく調べると、背中の部分に銘板が取り付けられていることがわかりました。銘板には「滋賀県観光文化館蜻蛉」と記されており、大阪市の「谷田鋳金工業所(現在は廃業)」が作ったもので、昭和36年1月15日に完成したことが判明しました。

大トンボは、(仮称)新・琵琶湖文化館開設まで現文化館内で保管し、開設後の取り扱いについては、県で検討の上決定される予定です。

◆琵琶湖文化館のホームページでは、屋根から降りた大トンボの写真がダウンロードできるようになりました。

発見された製作銘板の写真とともに公開しています。右のQRコードから画像ダウンロードページへ入れます。



会場での対面でも、自宅でもオンラインでも、お好みの形でご受講できます！

【受講生募集】

連続講座 文化財もの知り学 「日本史探究 / 近江1万年の物語」

文化財の専門職員が、最新の成果を分かりやすくお伝えします。令和5年度も直接対面での受講とオンライン受講を併用し、滋賀県立安土城考古博物館やご自宅でのオンライン受講もできるようにいたします。会場や受講の方法によって受講料が異なりますので、下記の表をご参照の上、お申し込みください。

- 主催 公益財団法人滋賀県文化財保護協会
- 開催時間 各回 10:00～11:30
- 申込方法 下記の表のとおり。受講の仕方によって、受講料・申込方法が異なりますのでご注意ください。

●申込期限等

申込期限 2023年5月17日(水)17:00まで
 抽選結果 2023年5月下旬までに連絡します。

●申込・問合せ

公益財団法人滋賀県文化財保護協会
 077-548-9780 (平日 8:30～17:15)



協会 HP

※詳しくは協会HPをご覧ください。

●令和5年度のラインナップ(全8回)●

- 第1回 6月24日(土) 当協会調査員 小島孝修
縄文人はエコロジストーSDGsの先駆者たち
- 第2回 7月22日(土) 安土城考古博物館 伊庭功
ムラに響く鐘の音色ー銅鐸はどのように使われたか
- 第3回 8月26日(土) 当協会調査員 辻川哲朗
古墳からみた「近江」ー「近江」に王はいたのか?
- 第4回 9月23日(土) 当協会調査員 重田勉
鉄の国「近江」ー大国近江の礎
- 第5回 10月28日(土) 当協会調査員 堀真人
渡来人の足跡を追うーハイテク技術の伝承者たち
- 第6回 11月25日(土) 京都橘大学 中久保辰夫氏
古代の食を復元するー食文化からみるSDGs
- 第7回 12月23日(土) 当協会調査員 神保忠宏
大国近江の三つの宮ー大津・紫香楽・保良、三都物語
- 第8回 1月27日(土) 当協会調査員 内田保之
水陸の道の国「近江」ー東西をむすぶ道と湖

※各講師の所属は令和5年3月31日現在。

受講の方法と会場	【本会場】で対面での受講	【オンライン会場】での受講	
	A会場 県埋蔵文化財センター	B会場 安土城考古博物館	D会場 ご自宅 (Zoom使用)
定員	30名	50名	100名
受講料	全8回分 一括払い 10,000円	全8回分 一括払い 6,000円	
お申し込みの方法	【電話】でお申し込みください。 077-548-9780 希望者多数の場合は【抽選】 抽選結果の連絡は5月下旬	【電話】でお申し込みください。 077-548-9780 希望者多数の場合は【抽選】 抽選結果の連絡は5月下旬	【メール】でお申し込みください。 shop@shiga-bunkazai.jp メールにはお名前・ご住所・電話番号を明記

【お知らせ】文化財で人づくり・地域づくり

「しがぶん募金」のご支援・ご協力ありがとうございます

◆「しがぶん募金」は令和3年4月に始まりました。これまでに受けました寄附金は161,000円です(令和5年2月28日現在)。皆様からのご支援に深く感謝申し上げます。

お受けしました寄附金は、当協会の普及啓発事業に活用させていただき、文化財がもつ価値と情報をさらに活かし、滋賀の次代を担う人づくりや地域づくりを推進していきます。

ご支援・ご寄付などをいただきました皆様への感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。なお、ご芳名の公開を希望されていない寄付者様につきましては、掲載いたしていません。

◆これまでの寄付者様ご芳名(順不同・敬称略)

- 富永 藤吉 日比野 清是 藤原 和弘
- 木本 恭子 池田 勲 吉田 勝晶
- 寺田 祐造 金子 洋平 木下 博一
- 前阪 良憲



令和4年度の普及啓発事業(京都橘大学生のインターンシップの様子)

【掲載を希望されない寄付者様】 18名

今後とも、文化財をとoshita人づくり・地域づくりを継続するために皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。